

2023年4月6日

JBBF 登録選手各位

【協力をお願い】簡易ドーピング検査(仮称)導入のためのデータ収集について

これまで、当連盟では、JADAにおけるアンチドーピング教育を実施しておりますが、JADAによるドーピング検査は、指定された大会のみが対象とされ、検査数はごく限定的なものとなっています。そこで、JADAによるドーピング検査とは別に、当連盟独自の取り組みとして、より多くの大会で実施可能な検査の導入を検討しています。

本取り組みは、会員が、安易な禁止薬物の摂取を抑止し、健康的に正しく身体を鍛え、公正でグリーンな競技会に臨める体制を整えることを目的としており、これまで当連盟で推進してきたアンチドーピング活動に資するものと考えております。しかしながら、現在、当該検査はまだ試験段階にあり、各位並びに会員方々に、データ収集にご協力いただき、検査精度を検証したうえで、正式に導入するか否かを決定したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

正式導入前ですが、当該検査を『簡易ドーピング検査(仮称)』と呼称いたします。簡易ドーピング検査は、次の2点を特徴としております(詳細下記)。

- ② 検査方法が、従来のドーピング検査に比べ、簡易であること。
- ② JADAが指定する禁止薬物の中から当連盟が筋肉増強を主目的としたものを選定することで、従来のドーピング検査に比べコストを下げ、簡易に、多くの大会で実施可能になること。

記

<簡易ドーピング検査方法>

薬物判定の民間企業に委託し、検査を行います。但し、検出のみとし判定による個人への処分並びに氏名の公表等を行いません。検出された項目の中で禁止物質が出た場合は、JADAへ通告し正式な検査を要請します。

<選手への協力内容>

簡易ドーピング検査の正式導入に先立ち、多くの選手よりデータを集め、基準となる数値を確定していきます。首後ろの汗をぬぐい、皮脂から検出される物質のデータを集め、生来、身体にある成分(ホルモン物質など)の平均値をとることで、検査で判定する基準を作ります。

個人の特定はされません。また、結果についての公表はせず、データ基準確定のために保存されます。

以 上

公益社団法人日本ボディビル・フィットネス連盟

アンチドーピング委員会

会長 青田正順